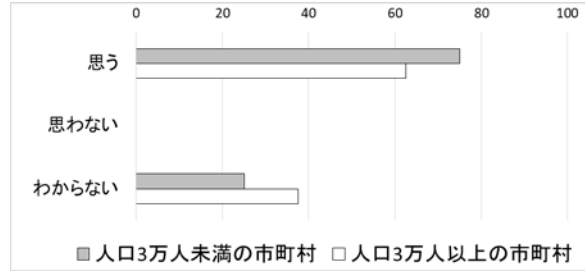


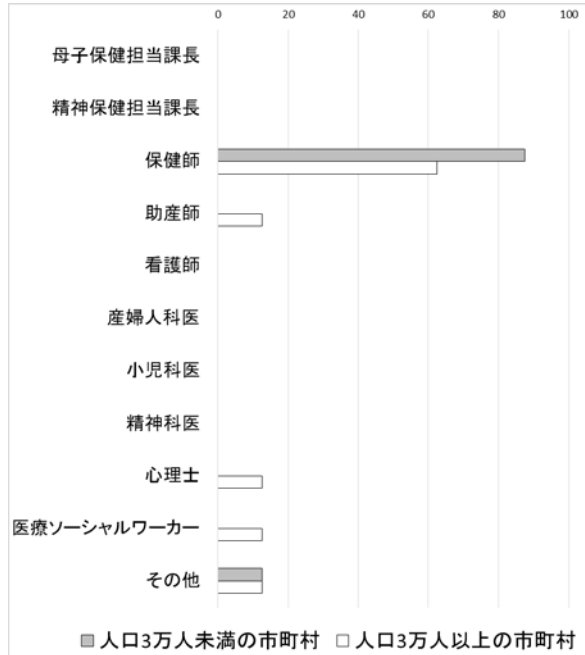
A1 妊娠前から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	6	5	75.0	62.5
思わない	0	0	0.0	0.0
わからない	2	3	25.0	37.5



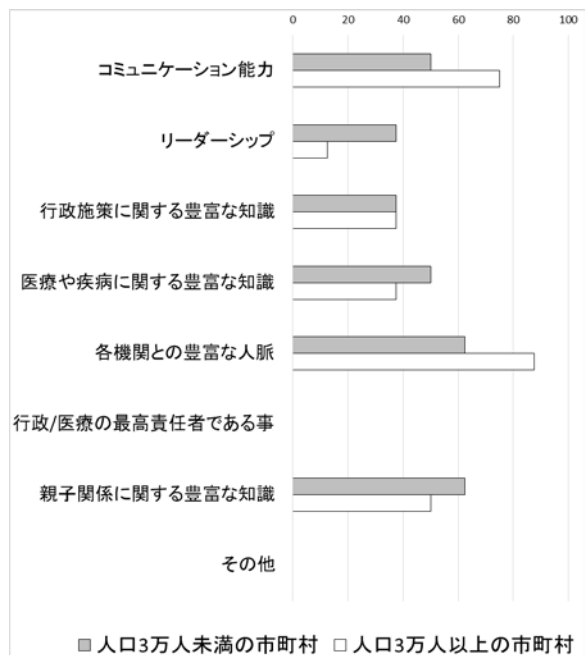
A2 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位でのコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母子保健担当課長	0	0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0	0	0.0	0.0
保健師	7	5	87.5	62.5
助産師	0	1	0.0	12.5
看護師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	0	0	0.0	0.0
小児科医	0	0	0.0	0.0
精神科医	0	0	0.0	0.0
心理士	0	1	0.0	12.5
医療ソーシャルワーカー	0	1	0.0	12.5
その他	1	1	12.5	12.5



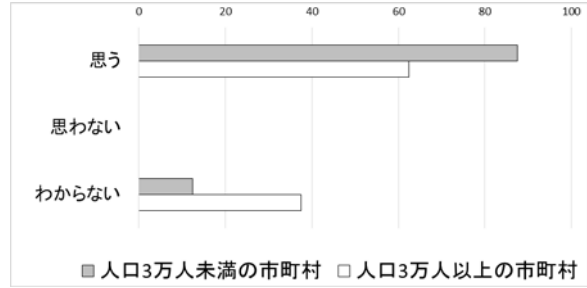
A3 コーディネーターに求められるスキルは何でしょうか？ 3つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
コミュニケーション能力	4	6	50.0	75.0
リーダーシップ	3	1	37.5	12.5
行政施策に関する豊富な知識	3	3	37.5	37.5
医療や疾病に関する豊富な知識	4	3	50.0	37.5
各機関との豊富な人脈	5	7	62.5	87.5
行政/医療の最高責任者である事	0	0	0.0	0.0
親子関係に関する豊富な知識	5	4	62.5	50.0
その他	0	0	0.0	0.0



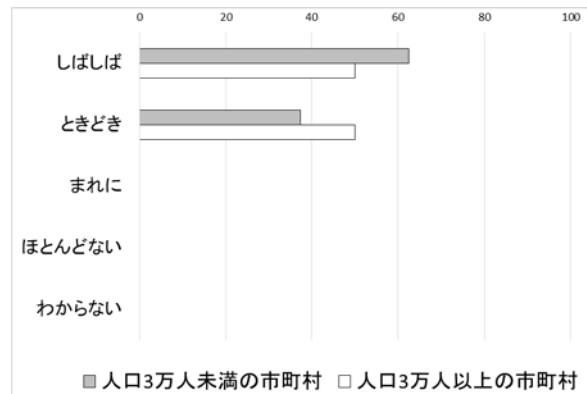
A4 コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	7	5	87.5	62.5
思わない	0	0	0.0	0.0
わからない	1	3	12.5	37.5



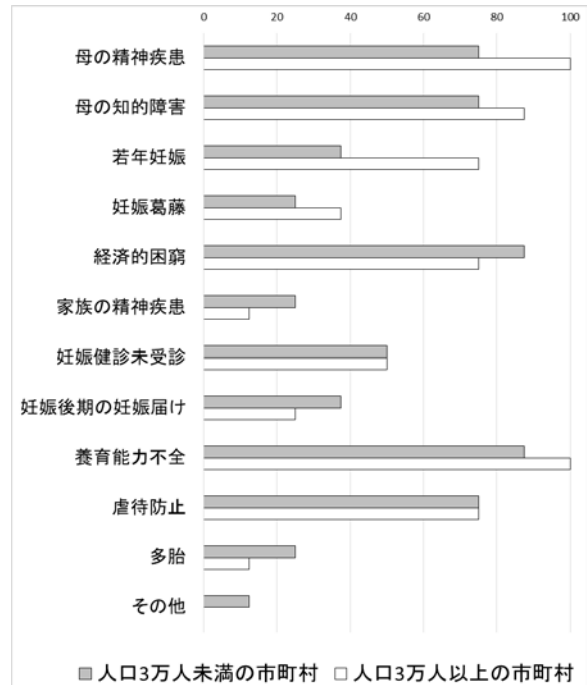
A5 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
しばしば	5	4	62.5	50.0
ときどき	3	4	37.5	50.0
まれに	0	0	0.0	0.0
ほとんどない	0	0	0.0	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



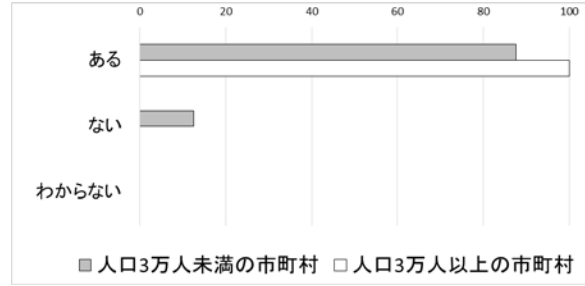
A6 連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母の精神疾患	6	8	75.0	100.0
母の知的障害	6	7	75.0	87.5
若年妊娠	3	6	37.5	75.0
妊娠葛藤	2	3	25.0	37.5
経済的困窮	7	6	87.5	75.0
家族の精神疾患	2	1	25.0	12.5
妊娠健診未受診	4	4	50.0	50.0
妊娠後期の妊娠届け	3	2	37.5	25.0
養育能力不全	7	8	87.5	100.0
虐待防止	6	6	75.0	75.0
多胎	2	1	25.0	12.5
その他	1	0	12.5	0.0



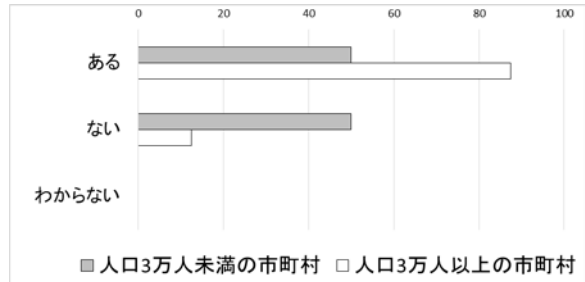
A7 特定妊婦が転居するときに、市町村単位で情報を共有、申し送りするシステムはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	7	8	87.5	100.0
ない	1	0	12.5	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



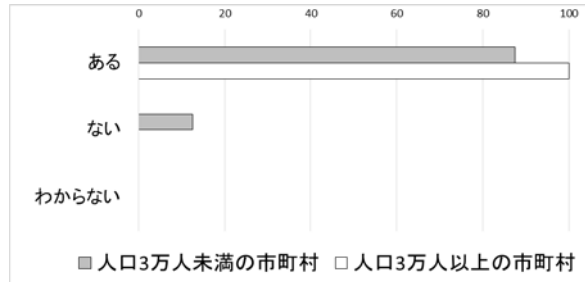
A8 地域の中で周産期のメンタルヘルスの問題（妊婦の精神疾患等）を診ている精神科はありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	4	7	50.0	87.5
ない	4	1	50.0	12.5
わからない	0	0	0.0	0.0



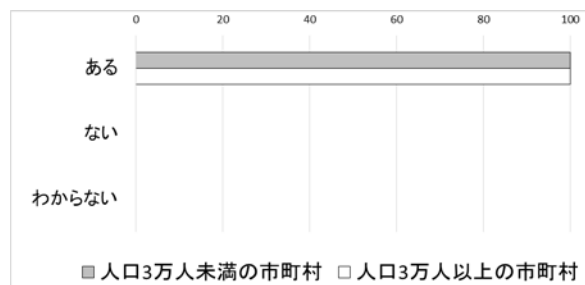
A9 特定妊婦の情報を何らかの形で、産科医療機関と共有したことはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	7	8	87.5	100.0
ない	1	0	12.5	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



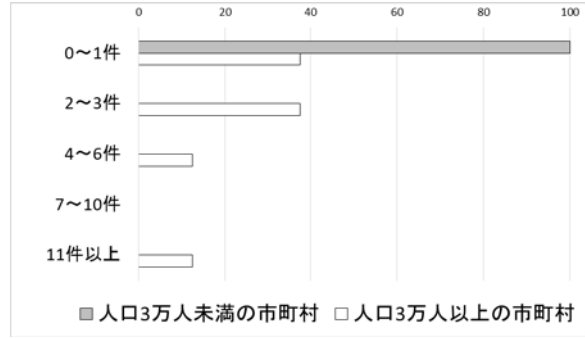
A10 産科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	8	8	100.0	100.0
ない	0	0	0.0	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



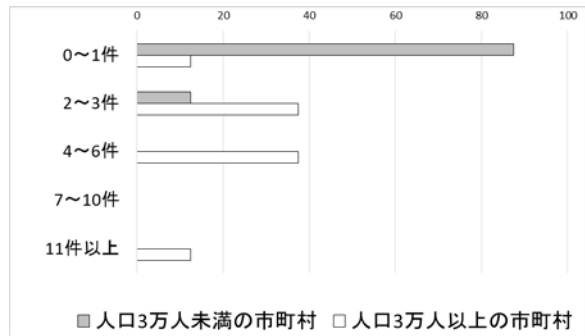
A11 A10であるとお答えの方にお聞きします。1ヶ月で行政→医療機関（産科）への連絡票はおよそ何件ありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
0～1件	8	3	100.0	37.5
2～3件	0	3	0.0	37.5
4～6件	0	1	0.0	12.5
7～10件	0	0	0.0	0.0
11件以上	0	1	0.0	12.5



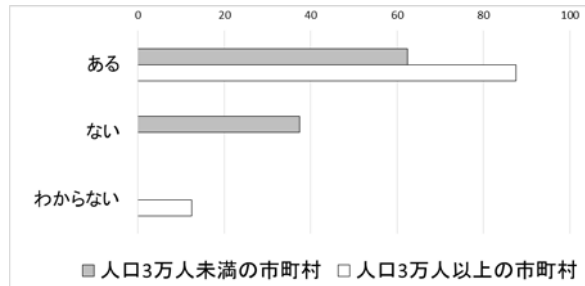
A12 A10であるとお答えの方にお聞きします。1ヶ月で医療機関（産科）→行政への連絡票はおよそ何件ありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
0～1件	7	1	87.5	12.5
2～3件	1	3	12.5	37.5
4～6件	0	3	0.0	37.5
7～10件	0	0	0.0	0.0
11件以上	0	1	0.0	12.5



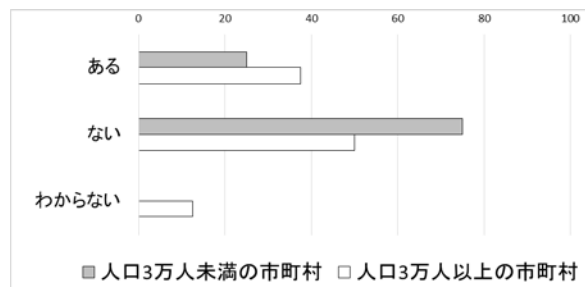
A13 妊婦の情報を何らかの形で、精神科医療機関と共有したことはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	5	7	62.5	87.5
ない	3	0	37.5	0.0
わからない	0	1	0.0	12.5



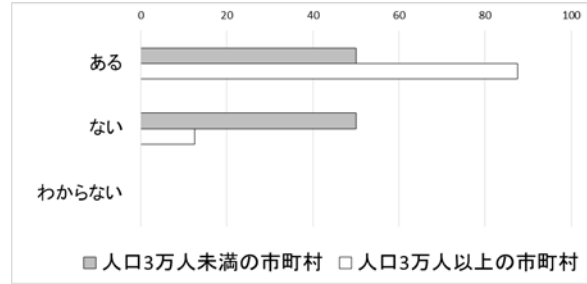
A14 精神科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	2	3	25.0	37.5
ない	6	4	75.0	50.0
わからない	0	1	0.0	12.5



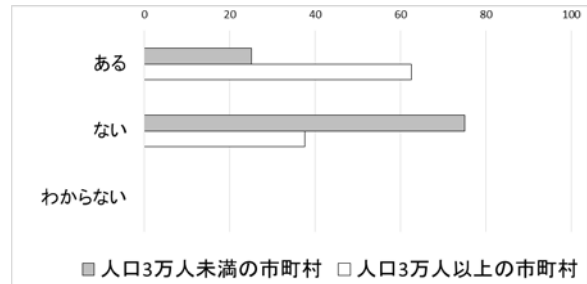
A17 特定妊婦から出生した子どもに関する情報を、何らかの形で小児科医療機関と共有したことはありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	4	7	50.0	87.5
ない	4	1	50.0	12.5
わからない	0	0	0.0	0.0



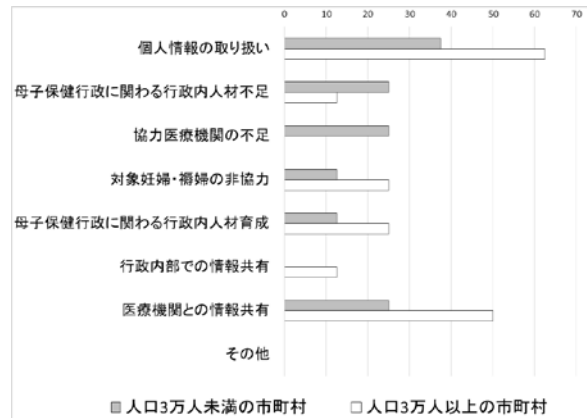
A18 小児科医療機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
ある	2	5	25.0	62.5
ない	6	3	75.0	37.5
わからない	0	0	0.0	0.0



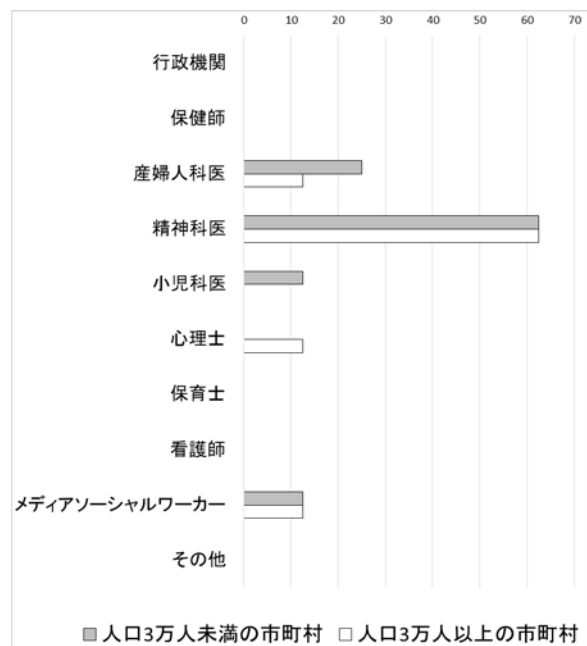
A21 各医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？(複数回答可)

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
個人情報の取り扱い	3	5	37.5	62.5
母子保健行政に関わる行政内人材不足	2	1	25.0	12.5
協力医療機関の不足	2	0	25.0	0.0
対象妊婦・褥婦の非協力	1	2	12.5	25.0
母子保健行政に関わる行政内人材育成	1	2	12.5	25.0
行政内部での情報共有	0	1	0.0	12.5
医療機関との情報共有	2	4	25.0	50.0
その他	0	0	0.0	0.0



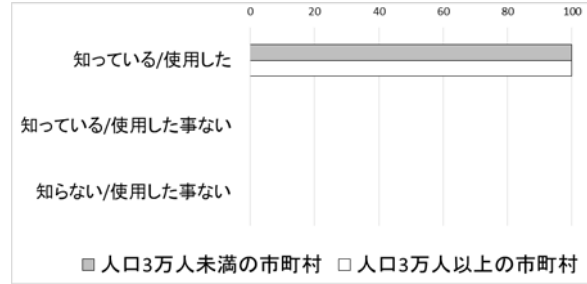
A22 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
行政機関	0	0	0.0	0.0
保健師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	2	1	25.0	12.5
精神科医	5	5	62.5	62.5
小児科医	1	0	12.5	0.0
心理士	0	1	0.0	12.5
保育士	0	0	0.0	0.0
看護師	0	0	0.0	0.0
メディアソーシャルワーカー	1	1	12.5	12.5
その他	0	0	0.0	0.0



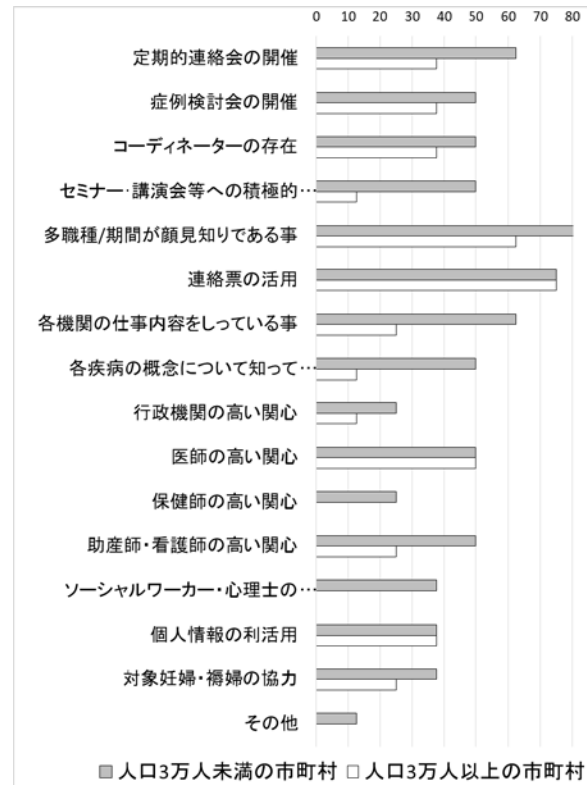
A23 エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS)をご存知ですか/ご使用されたことありますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている/使用した	8	8	100.0	100.0
知っている/使用した事ない	0	0	0.0	0.0
知らない/使用した事ない	0	0	0.0	0.0



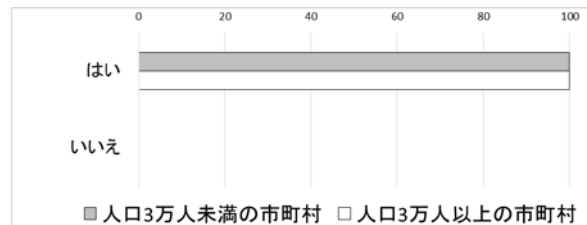
A24 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
定期的連絡会の開催	5	3	62.5	37.5
症例検討会の開催	4	3	50.0	37.5
コーディネーターの存在	4	3	50.0	37.5
セミナー・講演会等への積極的参加	4	1	50.0	12.5
多職種/期間が顔見知りである事	7	5	87.5	62.5
連絡票の活用	6	6	75.0	75.0
各機関の仕事内容をしている事	5	2	62.5	25.0
各疾病の概念について知っている事	4	1	50.0	12.5
行政機関の高い関心	2	1	25.0	12.5
医師の高い関心	4	4	50.0	50.0
保健師の高い関心	2	0	25.0	0.0
助産師・看護師の高い関心	4	2	50.0	25.0
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	3	0	37.5	0.0
個人情報の利活用	3	3	37.5	37.5
対象妊婦・褥婦の協力	3	2	37.5	25.0
その他	1	0	12.5	0.0



A25 平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことはご存知ですか？

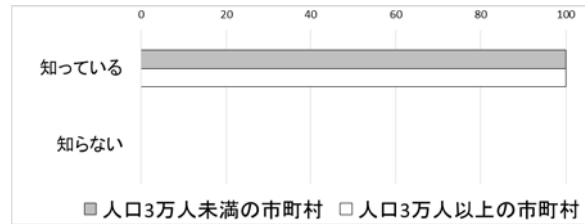
	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
はい	8	8	100.0	100.0
いいえ	0	0	0.0	0.0



A26 改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

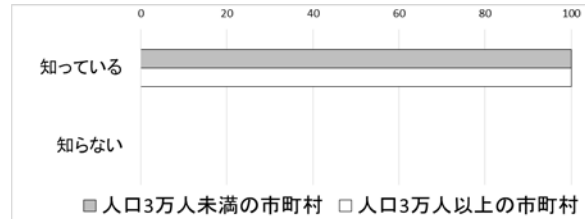
a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供しよう努めること

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている	8	8	100.0	100.0
知らない	0	0	0.0	0.0



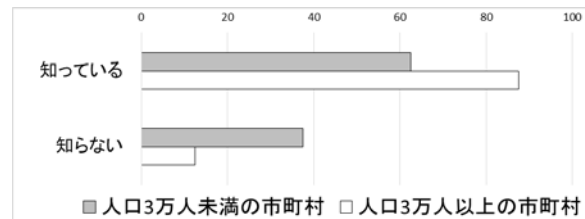
b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている	8	8	100.0	100.0
知らない	0	0	0.0	0.0



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

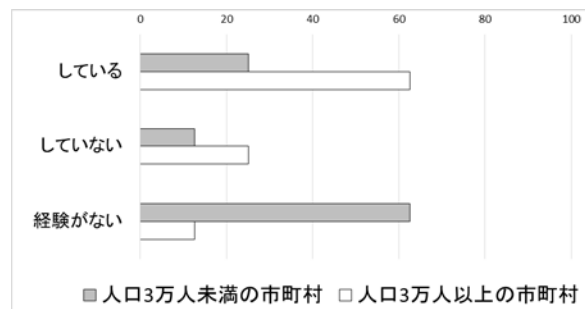
	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
知っている	5	7	62.5	87.5
知らない	3	1	37.5	12.5



A27 児童虐待のハイリスク妊婦／褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

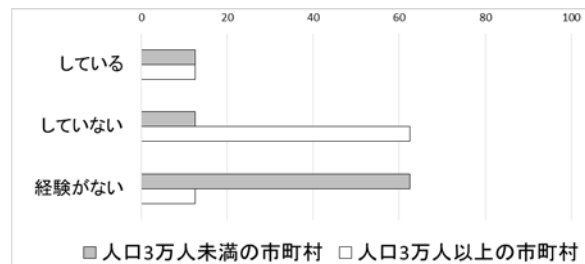
a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
している	2	5	25.0	62.5
していない	1	2	12.5	25.0
経験がない	5	1	62.5	12.5



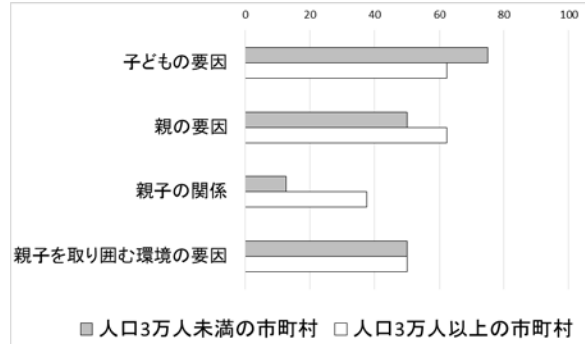
b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
している	1	1	12.5	12.5
していない	1	5	12.5	62.5
経験がない	5	1	62.5	12.5



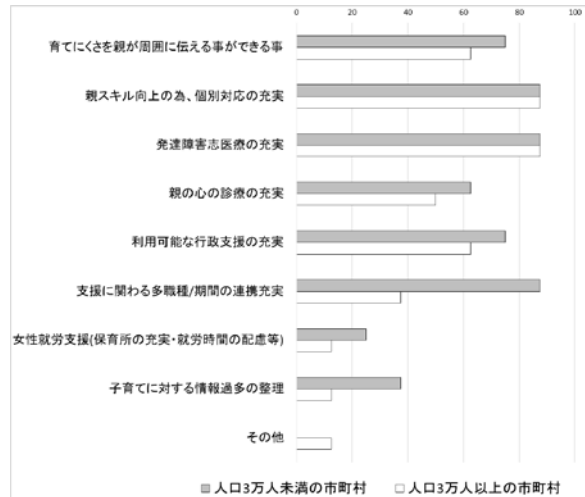
B1 保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思われますか？  
2つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
子どもの要因	6	5	75.0	62.5
親の要因	4	5	50.0	62.5
親子の関係	1	3	12.5	37.5
親子を取り囲む環境の要因	4	4	50.0	50.0



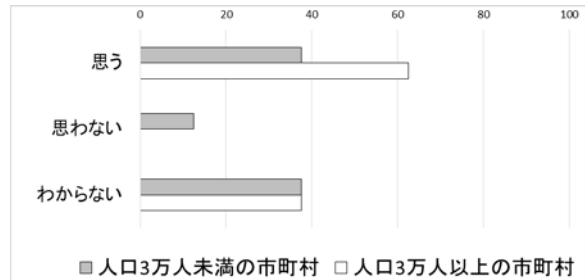
B2 「育てにくさ」を支援するために何が必要と思われますか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
育てにくさを親が周囲に伝える事ができる事	6	5	75.0	62.5
親スキル向上の為、個別対応の充実	7	7	87.5	87.5
発達障害志医療の充実	7	7	87.5	87.5
親の心の診療の充実	5	4	62.5	50.0
利用可能な行政支援の充実	6	5	75.0	62.5
支援に関わる多職種/期間の連携充実	7	3	87.5	37.5
女性就労支援(保育所の充実・就労時間の配慮等)	2	1	25.0	12.5
子育てに対する情報過多の整理	3	1	37.5	12.5
その他	0	1	0.0	12.5



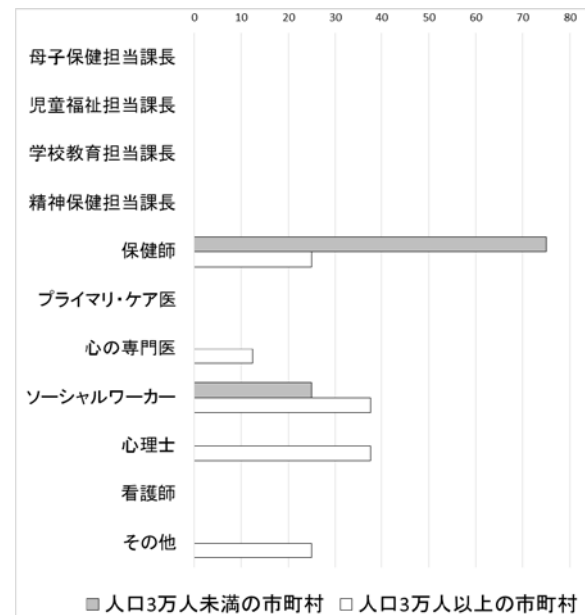
B3 育てにくさを感じる親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	3	5	37.5	62.5
思わない	1	0	12.5	0.0
わからない	3	3	37.5	37.5



B4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

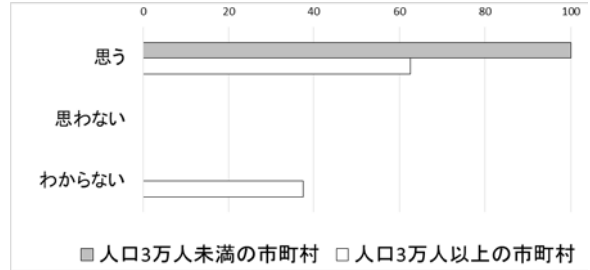
	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母子保健担当課長	0	0	0.0	0.0
児童福祉担当課長	0	0	0.0	0.0
学校教育担当課長	0	0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0	0	0.0	0.0
保健師	6	2	75.0	25.0
プライマリ・ケア医	0	0	0.0	0.0
心の専門医	0	1	0.0	12.5
ソーシャルワーカー	2	3	25.0	37.5
心理士	0	3	0.0	37.5
看護師	0	0	0.0	0.0
その他	0	2	0.0	25.0





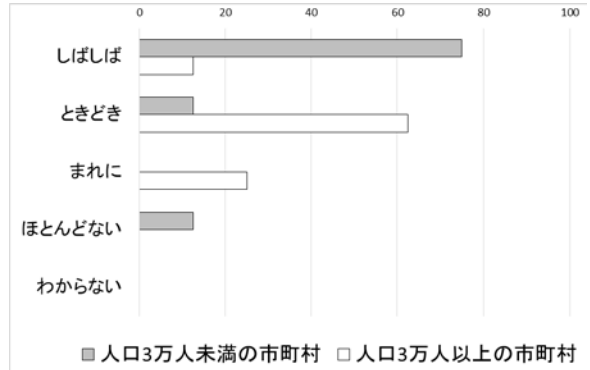
B5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センターに配置することを必要と思われ  
ますか？

	人口3万人 未満の市町村 N	人口3万人 以上の市町村 N	人口3万人 未満の市町村 %	人口3万人 以上の市町村 %
思う	8	5	100.0	62.5
思わない	0	0	0.0	0.0
わからない	0	3	0.0	37.5



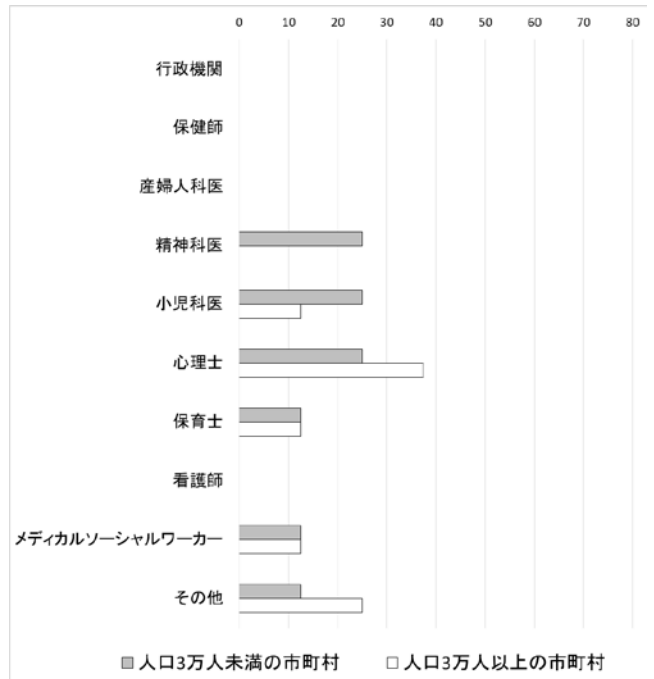
B6 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施され  
ていますか？

	人口3万人 未満の市町村 N	人口3万人 以上の市町村 N	人口3万人 未満の市町村 %	人口3万人 以上の市町村 %
しばしば	6	1	75.0	12.5
ときどき	1	5	12.5	62.5
まれに	0	2	0.0	25.0
ほとんどない	1	0	12.5	0.0
わからない	0	0	0.0	0.0



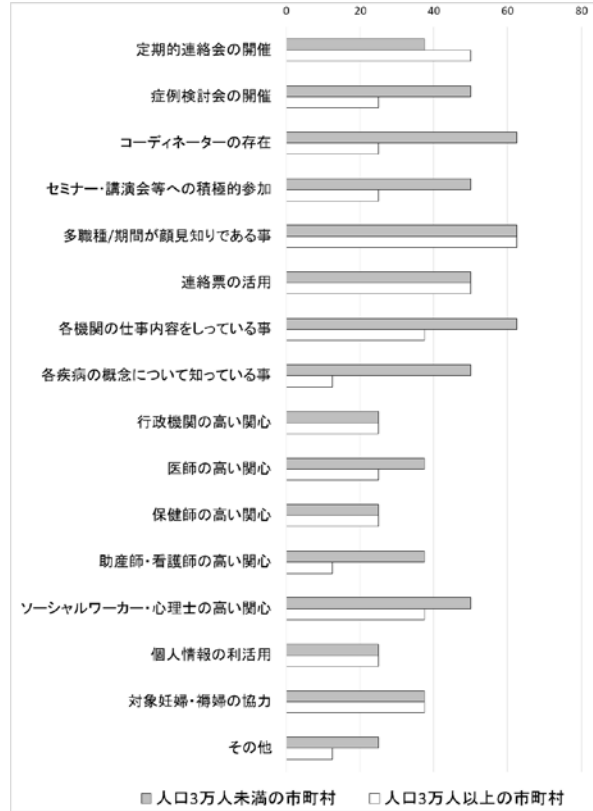
B7 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携のために今後もっとも連携を強化し  
たい機関/職種を1つ選んでください。

	人口3万人 未満の市町村 N	人口3万人 以上の市町村 N	人口3万人 未満の市町村 %	人口3万人 以上の市町村 %
行政機関	0	0	0.0	0.0
保健師	0	0	0.0	0.0
産婦人科医	0	0	0.0	0.0
精神科医	2	0	25.0	0.0
小児科医	2	1	25.0	12.5
心理士	2	3	25.0	37.5
保育士	1	1	12.5	12.5
看護師	0	0	0.0	0.0
メディカルソーシャルワーカー	1	1	12.5	12.5
その他	1	2	12.5	25.0



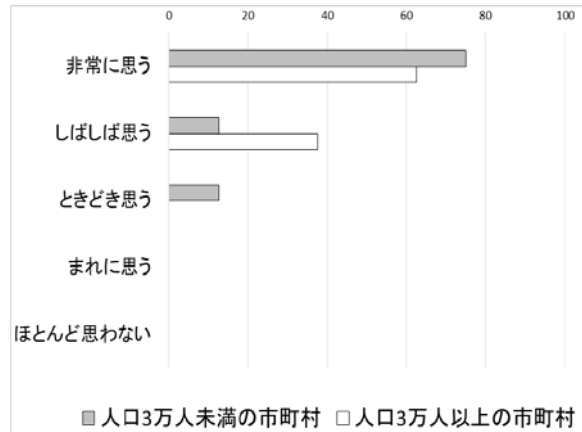
B8 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
定期的連絡会の開催	3	4	37.5	50.0
症例検討会の開催	4	2	50.0	25.0
コーディネーターの存在	5	2	62.5	25.0
セミナー・講演会等への積極的参加	4	2	50.0	25.0
多職種/期間が顔見知りである事	5	5	62.5	62.5
連絡票の活用	4	4	50.0	50.0
各機関の仕事内容を知っている事	5	3	62.5	37.5
各疾病の概念について知っている事	4	1	50.0	12.5
行政機関の高い関心	2	2	25.0	25.0
医師の高い関心	3	2	37.5	25.0
保健師の高い関心	2	2	25.0	25.0
助産師・看護師の高い関心	3	1	37.5	12.5
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	4	3	50.0	37.5
個人情報の利活用	2	2	25.0	25.0
対象妊婦・褥婦の協力	3	3	37.5	37.5
その他	2	1	25.0	12.5



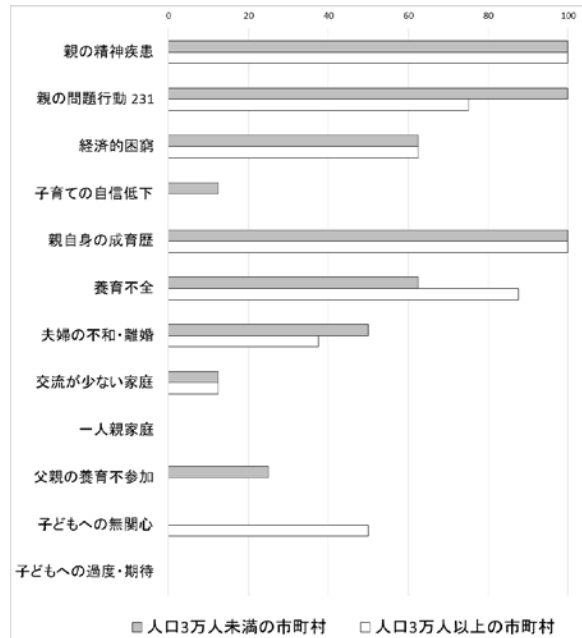
C1 子どもの心の問題は、親の心の問題（親子関係、親の病気等）が関係していると思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
非常に思う	6	5	75.0	62.5
しばしば思う	1	3	12.5	37.5
ときどき思う	1	0	12.5	0.0
まれに思う	0	0	0.0	0.0
ほとんど思わない	0	0	0.0	0.0



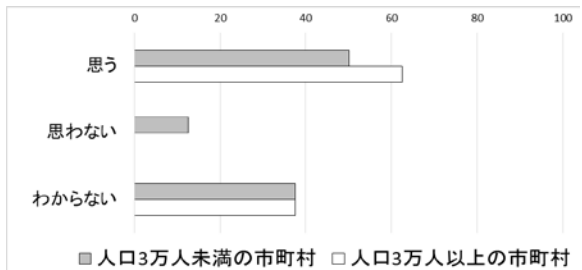
C2 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？ 5つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
親の精神疾患	8	8	100.0	100.0
親の問題行動 231	8	6	100.0	75.0
経済的困窮	5	5	62.5	62.5
子育ての自信低下	1	0	12.5	0.0
親自身の成育歴	8	8	100.0	100.0
養育不全	5	7	62.5	87.5
夫婦の不和・離婚	4	3	50.0	37.5
交流が少ない家庭	1	1	12.5	12.5
一人親家庭	0	0	0.0	0.0
父親の養育不参加	2	0	25.0	0.0
子どもへの無関心	0	4	0.0	50.0
子どもへの過度・期待	0	0	0.0	0.0



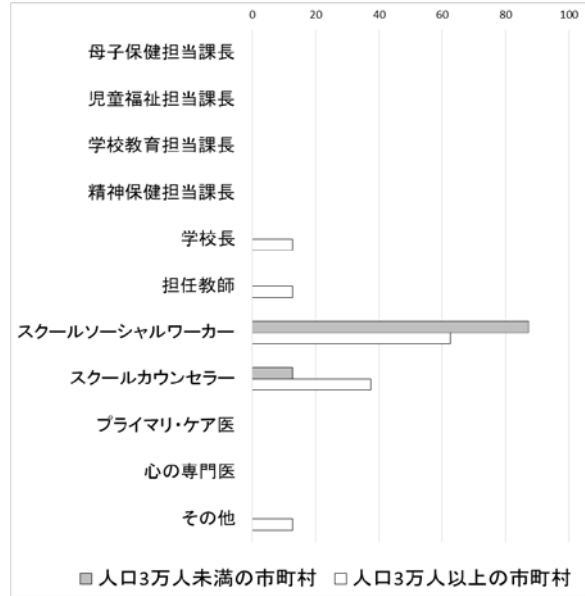
C3 学童・思春期の親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	4	5	50.0	62.5
思わない	1	0	12.5	0.0
わからない	3	3	37.5	37.5



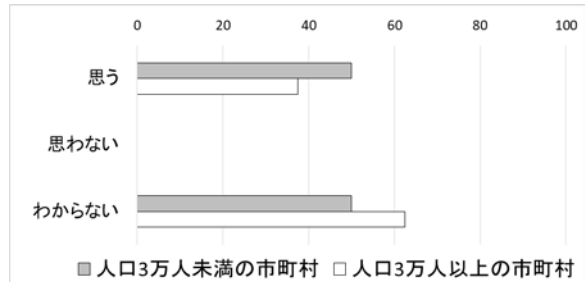
C4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
母子保健担当課長	0	0	0.0	0.0
児童福祉担当課長	0	0	0.0	0.0
学校教育担当課長	0	0	0.0	0.0
精神保健担当課長	0	0	0.0	0.0
学校長	0	1	0.0	12.5
担任教師	0	1	0.0	12.5
スクールソーシャルワーカー	7	5	87.5	62.5
スクールカウンセラー	1	3	12.5	37.5
プライマリ・ケア医	0	0	0.0	0.0
心の専門医	0	0	0.0	0.0
その他	0	1	0.0	12.5



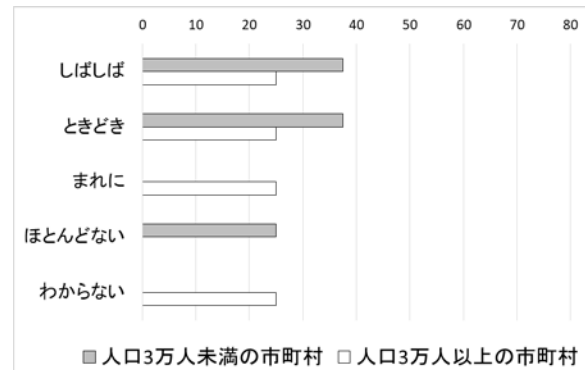
C5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
思う	4	3	50.0	37.5
思わない	0	0	0.0	0.0
わからない	4	5	50.0	62.5



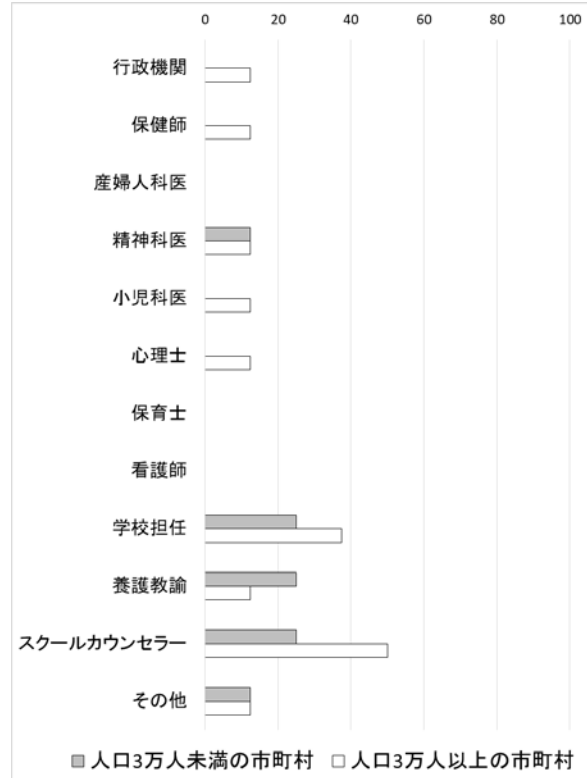
C6 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
しばしば	3	2	37.5	25.0
ときどき	3	2	37.5	25.0
まれに	0	2	0.0	25.0
ほとんどない	2	0	25.0	0.0
わからない	0	2	0.0	25.0



C7 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関／職種を1つ選んでください。

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
行政機関	0	1	0.0	12.5
保健師	0	1	0.0	12.5
産婦人科医	0	0	0.0	0.0
精神科医	1	1	12.5	12.5
小児科医	0	1	0.0	12.5
心理士	0	1	0.0	12.5
保育士	0	0	0.0	0.0
看護師	0	0	0.0	0.0
学校担任	2	3	25.0	37.5
養護教諭	2	1	25.0	12.5
スクールカウンセラー	2	4	25.0	50.0
その他	1	1	12.5	12.5



C8 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか？（複数回答可）

	人口3万人未満の市町村 N	人口3万人以上の市町村 N	人口3万人未満の市町村 %	人口3万人以上の市町村 %
定期的連絡会の開催	3	4	37.5	50.0
症例検討会の開催	3	2	37.5	25.0
コーディネーターの存在	4	5	50.0	62.5
セミナー・講演会等への積極的参加	4	1	50.0	12.5
多職種/期間が顔見知りである事	6	5	75.0	62.5
多職種/機関の役割が明確であること	5	5	62.5	62.5
各機関の仕事内容を知っている事	4	5	50.0	62.5
各疾病の概念について知っている事	4	2	50.0	25.0
行政機関の高い関心	2	2	25.0	25.0
医師の高い関心	2	1	25.0	12.5
保健師の高い関心	1	0	12.5	0.0
看護師の高い関心	2	0	25.0	0.0
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	4	3	50.0	37.5
個人情報の利活用	4	2	50.0	25.0
対象保護者の協力	3	3	37.5	37.5
その他	3	1	37.5	12.5

